



# エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成 30 年 11 月 25 日（第 75 号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

## エコクッキングを開催します

**12月1日（土）午前9時～午後1時**

### 維孝館中学校調理室

身近な旬の材料をあますことなく使い、無駄を省きながら健康に良いメニューを考える「エコクッキング」。今回は冬の野菜などを使って、体にも環境にもやさしいものを作しましょう。

・材料費：500 円

・参加希望者は事務局（役場建設環境課：88-6639）までお申し込みください。



#### 無駄をなくす食材ひと口メモ

ニンジン調理する時は皮をむいてませんか？実は、ニンジンの「皮」というのは非常にうすいもので、出荷時の洗浄でむけてしまっていることが多いそう。

だから、調理時に「皮」をむくというのは「身」をけずっていることになるのです。その分、食べられる部分を減らして捨てていることになるので、むかずにそのまま調理しても問題ありません。そうすれば、ゴミも減らして、おいしさも栄養もまるごと味わうことができます。

## ふるさと自然体験ハイキングを実施しました

11月11日（日）、ふるさと自然体験ハイキングを開催し、総合文化センターを起点とし、岩山地区を巡りました。

ハイキングは夏原グラント助成事業の「ふるさとの自然環境保全のための基礎資料調査」を兼ねており、道中、雙栗天神社、巖松院、清水家のカヤ、正覚寺、長山集落、宇治田原小学校、立川平岡地域を歩きながら、動植物や史跡などを観察。講師を務めた阪本副会長が解説を行いました。

巖松院では本堂内部を参拝させていただき、ご住職からお寺の由来や仏像などについてご説明いただきました。

雙栗天神社などでは今年9月の台風の爪痕が生々しく残り、自然災害の恐ろしさを目の当たりにしました。調査の成果は今後発行する町内環境等の報告書に活かされる予定です。



清水家のカヤ



宇治田原小学校校門



この事業は平和堂財団  
環境保全活動助成事業  
「夏原グラント」の助成  
を受けて実施していま  
す

# 今年1年を振り返って

2018年は地球にとって、今まで以上に厳しい年になった。

まずは酷暑が顔を出した。最高気温38℃が珍しくない日々が続き熱中症で倒れる人が多発した。平熱36℃の人間が38℃になれば病院通い。マスコミも連日命に係わる暑さと連呼した。

次には空気中の水蒸気が異常に増え、ゲリラ豪雨と称される大雨に見舞われた後、間髪を入れずに、暖かくなった海水から出てくる好物の水蒸気をたっぷり含んだ強烈な台風が、大雨や大風で地球を痛めつけた。進路に関しても昔の経験則が役に立たない迷走を繰り返した。

南の暑い地域から飛来する動植物が、日本に迷い込んでくることも珍しくなくなった。

いよいよ温暖化がやってきた。

何をいまさらであるが地球は果てしなく大きく、温暖化予想にしても100%と言い切るのは難しい。しかし専門家が知恵を出し合い、地球温暖化になればこういった事象が発生すると予想するシミュレーションの内容と、現実に行っている事象がほぼ同じである。一人一人の温暖化防止に向けての活動が求められている。

防止活動の一つとしては、クールチョイスがある。二酸化炭素削減に向け、やみくもに省エネを図るのではなく、エコ製品をうまく購入する等、賢い選択を目指す発想である。

最近では温暖化に対して「適応」しようとする概念が生まれている。進む温暖化に向け農作物の品種改良等うまく対応（適応）しようとする知恵を持った人間らしい概念である。

さてさて、いずれにしても、今年だけの気候なのか、毎年こんな状態が続くのか来年以降に注目が集まっている。（芦原 昇）

## ふるさとまつりに参加



10月14日に開催された「宇治田原ふるさとまつり」にブース出展しました。

これまでと異なり、今年の会場は住民体育館になりました。エコパートナーは体育館西側入り口前にテントを構え、省エネ診断などを行いました。

京阪エンジニアリングさんには薪ストーブの実演展示をしていただき、ストーブの火力を使って調理されたピザやおでんの試食が好評でした。

### エコパートナーシップうじたわら賛助会員

宇治田原工業団地管理組合、環境サービス株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、宇治田原新聞サービス本舗株式会社、濱田プレス工藝株式会社、京都やましる農業協同組合宇治田原町支店、米田造園土木株式会社、宇治田原町（敬称略・順不同）

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局（宇治田原町建設事業部建設環境課内）  
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール：[junkan@town.ujitawara.lg.jp](mailto:junkan@town.ujitawara.lg.jp)

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原